

平成29年10月6日

1. 出席議員

1 番	杉原元博	9 番	伊東茂
2 番	片渕清次郎	10 番	松本末治
3 番	樋口作二	11 番	光武学
4 番	中村和典	12 番	徳村博紀
5 番	松田義太	13 番	福井正
6 番	中村一堯	14 番	松尾征子
7 番	稲富雅和	15 番	角田一美
8 番	勝屋弘貞	16 番	松尾勝利

2. 欠席議員

なし

3. 本会議に出席した事務局職員

事務局長	橋村直子
事務局長補佐	高本将行
議事管理係長	迎英昭

4. 地方自治法第121条により出席した者

市	長	樋	口	久	俊
副	市長	藤	田	洋	一郎
教	育	江	島	秀	隆
総	務	有	森	弘	茂
総	務	納	塚	眞	琴
市	民	有	森	滋	樹
産	業	橋	村		勉
建	設	栗	林	雅	彦
会	計	吉	田	範	昭
総	務	大	代	昌	浩
人	権	江	口	清	一
企	画	土	井	正	昭
企	画	川	原	逸	生
市	民	幸	尾	か	おる
税	務	中	島	憲	次
福	祉	染	川	康	輔
保	険	田	崎		靖
農	林	下	村	浩	信
産	業	橋	口		浩
商	工	藤	家		隆
産	業	江	島	裕	臣
都	市	岩	下	善	孝
都	市	岸	川		修
環	境	山	浦	康	則
水	道	広	瀬	義	樹
教	育	寺	山	靖	久
教	育	針	長	三	州
生	涯	山	崎	公	和
監	査	村	田	敏	樹
監	査	松	田	義	太

平成29年10月6日（金）議事日程

開 議（午前10時）

- 日程第1 議案の追加上程（市長の提案理由説明）
- 日程第2 議案第50号 鹿島市教育委員会委員の任命について（質疑、討論、採決）
- 日程第3 決算審査特別委員会付託議案
- 議案第35号 平成28年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について
- 議案第36号 平成28年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第37号 平成28年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第38号 平成28年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第39号 平成28年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第40号 平成28年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第41号 平成28年度鹿島市水道事業会計決算認定について
- （委員会審査報告、質疑、討論、採決）

午前10時 開議

○議長（松尾勝利君）

おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元の議事日程どおりといたします。

この際、事務局長をして諸般の報告をいたさせます。橋村事務局長。

○議会事務局長（橋村直子君）

諸般の報告をいたします。

本日、市長から追加議案1件の提出がありました。議案番号及び議案名は、お手元に配付しております議案書（その3）の目次に記載のとおりでございます。

また、監査委員から平成29年度7月分の出納検査結果の報告がありましたので、その写しをお手元に配付しております。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第1 議案の追加上程（市長の提案理由説明）

○議長（松尾勝利君）

それでは、日程第1．議案の追加上程であります。

市長の提案理由の説明を求めます。樋口市長。

○市長（樋口久俊君）

おはようございます。本定例会に提案をいたしておりました議案につきましては、慎重に御審議いただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

それでは、本日、追加提案いたします議案は、人事案件1件でございます。

それでは、議案第50号 鹿島市教育委員会委員の任命について申し上げます。

現委員であります中島丈夫さんの任期が平成29年10月10日をもって満了することに伴い、後任者として岡田和人さんを選任したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意をお願いするものでございます。

以上、追加提案いたしました議案の説明を終わりますが、よろしく御審議いただきますようお願いを申し上げます。

以上です。

○議長（松尾勝利君）

お諮りします。議案第50号 鹿島市教育委員会委員の任命については、会議規則第36条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾勝利君）

異議ないものと認めます。よって、議案第50号 鹿島市教育委員会委員の任命については委員会付託を省略することに決しました。

日程第2 議案第50号

○議長（松尾勝利君）

次に、日程第2．議案第50号 鹿島市教育委員会委員の任命についての審議に入ります。

お諮りします。本案は説明を省略し、直ちに質疑に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾勝利君）

異議ないものと認め、説明を省略し、直ちに質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾勝利君）

質疑を終わります。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾勝利君）

討論を終わります。

採決します。議案第50号 鹿島市教育委員会委員の任命については、教育委員会委員として岡田和人氏の任命に同意することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（松尾勝利君）

起立全員であります。よって、議案第50号はこれに同意することに決しました。

ただいまから鹿島市教育委員会委員の紹介を行います。藤田副市長、お願いします。

○副市長（藤田洋一郎君）

それでは、私のほうから新しく鹿島市教育委員会委員として議会の御同意をいただきました岡田和人様を御紹介いたします。岡田様、一言御挨拶をお願いいたします。

○教育委員（岡田和人君）

皆様おはようございます。このたび、教育委員に御推挙いただきました岡田和人と申します。

私自身も3人子育てをしまいいりまして、ことしの3月に一番末の娘が高校を卒業いたしました。そういう子供がこれまで健やかに安全に成長できたのも、行政を取り巻く社会、そして朝に夕に暑い日も寒い日も子供たちの登下校を見守っていただきました見守り隊の皆さんのおかげだと、本当に心から感謝申し上げます。ほんのわずかでございますけれども、こういう地域社会に幾ばくかの恩に報いることができたらという思いで今回お引き受けさせていただこうと思っております。どうぞ今後ともよろしく申し上げます。（拍手）

○副市長（藤田洋一郎君）

どうもありがとうございました。どうぞよろしくをお願いいたします。

○議長（松尾勝利君）

ここで執行部の入れかえを行いますので、しばらくお待ちください。

日程第3 決算審査特別委員会付託議案

○議長（松尾勝利君）

次に、日程第3. 決算審査特別委員会付託議案、議案第35号から議案第41号についての審議に入ります。

去る9月14日の今期定例会において、決算審査特別委員会に付託をされました議案第35号から議案第41号までの平成28年度に係る各会計の決算認定7議案について、決算審査特別委員会の審査結果はお手元に配付をいたしております同委員会審査報告書写しのとおりであります。

平成29年9月25日

鹿島市議会

議 長 松 尾 勝 利 様

決算審査特別委員会
委員長 伊 東 茂

決算審査特別委員会審査報告書

平成29年9月14日の本会議で付託されました下記の7議案については、9月19日に概要説明と現地調査、並びに同月20日、22日及び25日の質疑をもって、審査を行いました。

審査の結果は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上、鹿島市議会会議規則第98条の規定により報告します。

記

- ・議案第35号 平成28年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について
- ・議案第36号 平成28年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・議案第37号 平成28年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・議案第38号 平成28年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・議案第39号 平成28年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ・議案第40号 平成28年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について
- ・議案第41号 平成28年度鹿島市水道事業会計決算認定について

審査経過及び結果の報告を求めます。決算審査特別委員会委員長伊東茂議員。

○決算審査特別委員長（伊東 茂君）

決算審査特別委員会委員長の伊東茂です。ただいまから決算審査特別委員会の審査報告を申し上げます。

去る9月14日の本会議において本委員会に付託され、議案第35号から議案第41号までの7議案につきまして、9月19日、20日、22日、25日の4日にわたり委員会を開催し、慎重に審査をしてまいりました。

なお、初日19日の午後からは、議案関係5カ所の現地調査を行いました。

次に、審査経過及び結果について報告をいたします。

市長以下、執行部の出席のもと、企画財政課より平成28年度の決算状況と主要施策の成果説明書により説明がありました。説明の要旨は次のとおりです。

一般会計は歳入が15,523,230千円、歳出は15,211,168千円、差し引き312,062千円を黒字決算、公共下水道事業特別会計は歳入1,170,409千円、歳出は同額で差し引き額ゼロ、谷田工場団地造成・分譲事業特別会計は歳入35,185千円、歳出9,811千円で25,374千円の黒字、国民健康保険特別会計は歳入4,689,619千円、歳出4,817,641千円で128,022千円の赤字、後期高齢者医療特別会計は歳入382,933千円、歳出382,079千円で854千円の黒字となっております。

ます。

一般会計の決算概要は、歳入では地方消費税交付金が10.7%の減、地方交付税7.3%の減、臨時財政対策債19.1%の減などにより、歳入全体では7.7%増となったものの一般財源ベースでは2.4%の減少、歳出では人件費が1.3%の増、公債費17.8%の減、積立金7.7%の増、扶助費は5.2%の増、物件費7.4%の増、補助費等13.2%の減、普通建設事業65.4%の増となっており、歳出全体で9.9%の増となっています。

このような状況の中、財源不足補填のために公共施設建設基金から市民体育館改修、小・中学校施設整備、市道改修などの財源として取り崩したが、財政調整基金は実質的な取り崩しを回避しております。

次に、主な財政指標についてですが、財政構造の弾力性を判断するための指標である経常収支比率は91.9%、対前年度比3.8ポイントの上昇、主な要因は、歳入において地方消費税交付金の減、普通交付税の減など、経常一般財源が減少したことによるもの。

実質赤字比率は、黒字決算となっているので、実際の数字は出ていない。早期健全化基準は14.0%、財政再生基準は20.0%である。

水道事業会計や国民健康保険特別会計等の特別会計を含む連結実質赤字比率は、黒字決算で実際の数字はありません。早期健全化基準は19.0%、財政再生基準は30.0%。

一般会計だけではなく、特別会計や公営企業、一部事務組合などを含む指標で、地方債の返済額、公債費の大きさを標準財政規模に対する割合であらわした実質公債費比率は7.0%で、1.0ポイントの改善となっております。早期健全化基準は25.0%、財政再生基準は35.0%。

一般会計及び特別会計や公営企業、一部事務組合などを含む指標で、一般会計が将来負担すべき実質的な負債の大きさを標準財政規模に対する割合であらわした将来負担比率は92.6%、早期健全化基準は350%でした。

以上の説明がありました。

次に、監査委員より議案第35号から議案第41号までの7議案について一括して概要報告がありました。以下のとおりとなります。

審査に付された歳入歳出決算書及び同附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数についても関係諸帳簿及び証拠書類と照合の結果、適正に表示をされていた。また、予算の執行管理については、歳入の確保と歳出予算の効率的な執行に配慮しながら各種の事務事業が推進されており、各会計とも適正に処理をされていた。

平成28年度鹿島市一般会計の歳入歳出決算額は、企画財政課からの報告どおりである。

公共下水道事業特別会計は、予算現額1,180,556千円に対し、収入済額は1,170,408,585円で、受益者負担金104,100円と下水道使用料441,739円を合わせた545,839円が不納欠損、支出済額は収入済額と同額で、10,147,415円が不用額となっている。

なお、一般会計からの繰入金金は588,925,990円で、前年度に比べ5,397,200円、率にして

0.9%の減少をしている。

次に、谷田工場団地造成・分譲事業特別会計について、予算現額32,569千円に対し、収入済額35,185,253円、支出済額9,811,399円である。

なお、未分譲地は1.1ヘクタール。

次に、国民健康保険特別会計について、予算現額4,914,148千円に対し、歳入決算額は4,689,618,864円、歳出決算額は4,817,641,120円であり、収支差し引き128,022,256円の赤字で、歳入不足額は平成29年度からの繰上充用金で補填されている。赤字額のうち、平成27年度の補填財源となった前年度繰上充用金207,507,438円を除けば、単年度収支では79,485,182円の黒字である。

次に、後期高齢者医療特別会計について、予算現額383,673千円に対し、歳入決算額は382,933,657円、歳出決算額は382,079,257円となっており、収支差し引きで854,400円の黒字決算。

給与管理特別会計は、予算現額1,870,169千円に対し、収入済額及び支出済額ともに1,857,293,619円で、前年度より19,784,254円、率にして1.1%増加となっている。

最後に、水道事業会計決算審査意見書について。

給配水の状況は、給水戸数9,484戸、給水人口2万6,044人、給水戸数は微増となっており、給水人口は減少が続いている。有収水量は0.8%増加し、236万9,869立方メートルとなり、これに伴い、給水収益も1.1%増加し、483,393,888円となった。また、水道料金の収納状況は、収納率は前年度対比0.2ポイント改善、未収金は前年度より669,680円減少。不納欠損処分額は前年度比で46,081円多い1,799,222円。総収益が558,238,577円、総費用が469,520,644円となり、純利益は前年度よりも17,879,998円多い88,717,933円となっている。業務活動、投資活動、財務活動の3つの資金活動の状況から、比較的良好な経営状態であると考えられる。

以上が監査委員からの報告概要でした。

次に、決算特別委員会が出された質問を抜粋して申し上げます。

質問 自主財源が大体全体の3分の1、依存財源が3分の2、これについて執行部はどう思うか。

答弁 国の地方交付税に対する考え等が変化をする中、交付税がなかなか見込めないが、依存財源に頼りつつも、自主財源をいかに確保していくかというのが重要なところである。国庫については、有利な補助金等の活用も見込みながら取り組んでいく。

質問 基金繰入金で、平成27年度の分と比較し、ふえているものが結構ある。これはふるさと納税の分がふえ、影響をしているのか。

答弁 ふるさと納税基金の繰り入れとして6つの事業に5,085千円を基金から活用した。平成28年度は1億円以上のふるさと納税があった。

質問 返礼品は市内の特産品とかを中心に取扱われたと思うが、この反響、感想はどうだったのか。

答弁 市の魅力ある産品を全国にPRすることができ、産業の活性化につながったと思う。評判もよく、特にミカン、シャインマスカット、ブドウ等、農作物の反響が非常に多く、リピーターもいる状況だ。今後もふるさと納税の推進を進めていく。

質問 将来負担比率が92.6%ということで年々増加をしている。要因は何なのか。

答弁 近年の公共事業等、投資によるものが主な要因。今後、借入金等を見込んでいるので、若干上昇する可能性もあるが、早期健全化基準350%の範囲内で推移をすると思うし、そうは上がらないと見込んでいる。

質問 経常収支比率が県内4番目で、昨年より上昇傾向にあり、厳しいような状況だと思うが。

答弁 経常収支比率が平成28年度は91.9%、対前年度比では3.8%の増。主な要因は、地方消費税交付金の減、普通交付税の減と、いわゆる経常一般財源が減少したことによるものである。公債費、扶助費、いわゆる民生費の増も一つの要因と考えられる。

質問 法人市民税が減収している。平成28年度の景気を判断する一つの指標だと思うが、どう判断しているか。

答弁 税制改正において地方法人税が設立され、法人市民税のうちの法人税割14.7%が12.1%の税率に変わった影響で法人市民税が少なくなった。国税のほうでかわりに納税をしているので、地方交付税の財源として地方に落ちてきている状況となっている。

質問 民生費が県内で2番目。民生費が多いと執行部は把握をしているのか。

答弁 民生費は28年度決算で36.6%、放課後児童クラブの賃金の増、または保育所運営費の扶助費の増などが主な要因。県内で歳出総額に占める割合としては、鹿島市が37%の4位、一般財源に占める割合としては10市で一番高い。一般財源に占める割合は30%で、独自の政策があったからと考えている。

質問 市税の未収率について、年々変わらないように思えるが。

答弁 不納欠損の約半数が生活困窮者、営業不振、負債等、事業系が約3割、滞納繰越額、不納欠損の額はだんだん減ってきている。市税は昨年度が22,875,621円の不納欠損があったが、8,677,647円と3分の1程度になっている。

質問 「広報かしま」について、新聞折り込みで配布をされているが、今、新聞をとる方がかなり減っている。対応を考えているのか。

答弁 「広報かしま」の配布方法として、新聞折り込みによる市報の配布は、毎月1日に必ず届くというメリットがある。ホームページとか広報媒体、インターネットで取得することも可能であるし、毎年6月に市報が郵送可能なところを回覧板にして各世帯にお知らせをしている。現在、郵送による配布は820世帯でふえている状況である。

地区の公民館等いろいろな場所に設置して、市民の手元に届くように努力をしている。

質問 昨年の参議院選挙で18歳から20歳未満の人でどれくらいの人で全体の何%ぐらいの人が選挙に行ったのか。

答弁 18、19歳を合わせて有権者数が638人に対し、投票者数が264人で投票率が41.38%であった。

質問 消防団員の見直しについて、七浦地区においては人口減少が厳しく、現在の195人の団員定数確保が非常に難しい状況だ。面積ではなく、人口で消防団員の定数を見直すよう要望もあるようだが。

答弁 団員の確保が厳しい状況は把握をしているが、災害、火災が発生した場合は迅速に対応しなければならないので、現状のように各分団に配置をしている。機能別消防ということで、消防団員OBの活用とか、部の増設も考えてはいる。

質問 定住促進対策事業の空き家登録事業で、実際、空き家を利用し、定住された方の状況は。

答弁 平成19年度から継続しての事業だが、成約物件数はトータルで現在23件、年間5件の範囲で増減をしており、19世帯が市外からの登録となっている。

質問 ラムサール条約登録湿地関係市町村会議負担金とはどういうものなのか。

答弁 全国でラムサール条約湿地に登録された50カ所以上が組織する会議の負担金で、1年ごとに担当者会議と市町村長会議が交互にあっている。

質問 廃棄物処理事業について、山浦開拓の大谷森林公園の近隣に産廃処理の施設が営業を始めて二十七、八年経過をする。地元の人たちが汚水の地下浸透を恐れて業者との公害防止協定を結んでいると思うが、市役所のほうに協定書が存在をしているのか、また、施設近隣の水路を流れる水が茶褐色で、鉄がさびた状態の色をしていた。下流域でまだ深井戸に頼って飲用をされている方がおられる。環境下水道課のほうで深井戸の調査をした実績があると思うが、再点検を含めて調査をお願いしたい。

答弁 地元の意向を十分反映しながら、市と業者のほうとの協定を結んでいる。現地の確認は産廃処理場なので県の所轄だが、保健所と市役所で9月と6月と1月に年3回、役員の皆さんと一緒に見回りをし、水質検査を市で年1回、県では月1回行っている。現在のところ、基準値を外れた数値はない。地下水の利用は把握していないので、今後調査をしたい。

質問 指定ごみ袋について、鹿島市は金額が高いとか、金額は一緒だが少しサイズが小さいという声があるが。

答弁 近隣の市町と比べて10枚で50円ほど高い。購入費はそのままごみの処理費用として、不足分を一般会計から支出をしている。住民の方にもごみが少なくなるように努力してもらい、ごみ袋も安くなるような形で取り組んでいきたい。値段はどれが妥当

かというところがなかなか言えない状況である。

質問 市道でまだ舗装されていない道はどれくらい残っているのか。

答弁 現状98.95%が舗装済みで、全国でも上位に入るくらいの舗装率。幹線市道は100%である。

質問 住宅改修工事補助事業について、リフォーム補助は継続をするのか。公共下水道工事が進んでいる中、住宅リフォームの助成をその下水の接続の一部にも使えたはずだと理解をしている。この制度があれば、下水道の接続率についても上がっていくと思うが。

答弁 平成23年度から当初は県の助成事業と合体した形で補助をしていたが、総務省の産業関連の指数あたりでも約19億円の鹿島市内において経済効果があった。一定の成果を果たしたということで平成29年度で事業は終了する。

質問 市営住宅の改善の関係で、どういう基準で畳がえをしているのか。

答弁 特に傷みの大きい畳も含め、建物の本体と、あと建物本体に付随するものなど、大きな修繕として市のほうで対処している。入居者が日常的に使われて消耗するものは、軽微な修繕ということで本人にお願いをしている。

質問 特別支援教育支援員事業で鹿島市は支援員が各小・中学校合わせて9名と少ない。武雄市は20人、白石町は25人いると聞くが。

答弁 近隣市町と比べて数は少ないのは重々把握をしているし、学校現場の状況も把握をしている。徐々にではあるが、拡大をしていく。

質問 小・中学校整備事業で、明倫小学校のカーペットが継ぎはぎになっており、非常に見苦しい。嘔吐下痢等のウイルスに感染しやすいということを考えると、早目にフローリングをしてほしいという要望が出ている。以前、大規模改修のときにあわせて聞いたが、交換の目安はあるのか。

答弁 国庫補助がついての話ではあるが、明倫小の大規模改造は平成31年度からの予定で、カーペットを剥いでフローリングにする方法で計画をしている。

質問 学校生活支援員事業について、市内の小・中学校全部に1人ずつ配置をされているのか、どのような方が支援員になっているのか、また、勤務体制は。

答弁 能古見小学校と北鹿島小学校には配置をしていない。鹿島小と古枝小に2名ずつ。比較的にかかり、配慮を要する子供が多いところへ重点的に配置をしている。支援員に特別な資格等は要求はなく、1日4時間の勤務体制となっている。

質問 団体に対する補助金について、肢体不自由児父母の会18人の組織人員24千円、手をつなぐ育成会は36人で40千円だが、同和事業に関しては全て丸抱えである。こんなおかしな話はない。全日本同和会と解放同盟の団体補助の金額と組織人数はどのようになっているか。

答弁 全日本同和会鹿島支部が2,154,719円で人員は5人、部落解放同盟鹿島支部が1,726,313円で会員数は3人となっている。

質問 市民交流プラザ整備事業で清掃費が5,891千円、契約金額5,000千円以上の事業一覧に入っていないが、入札をしなかったのか。1社との契約であれば、契約金額5,000千円以上の事業一覧に載せるべきと思うが。

答弁 長期継続契約で27年から29年までが契約期間となっており、1回目は入札を行い、決定をしている。清掃管理業務以外にもワックス塗布、浴室、脱衣所の清掃、エアコンフィルターの清掃等、必要な折にそれぞれの計画があり、それを合計した金額が5,891千円で、当初の金額が4,880,736円ということで、今回、5,000千円以上の事業契約には上げていなかった。今後、庁内で少し議論をしたい。

質問 放課後児童クラブについて、児童数が減っているのに需要がふえているという理由は。

答弁 平成21年度は201人の利用であったものが、本年度400人近い児童数にふえている。制度変更があり、平成27年度から6年生の児童まで受け入れが引き上げられたことと、共働きが多いのが要因。

質問 保育所運営について、保育士が足りないとか待遇が悪いとか給与面で満足ではないと聞くが、一定の規律があつての給料となっているのか。

答弁 市から委託料として国の示す基準額を園に対して支払うが、その中で工夫をし、運営され、各園で独自に決定をされている。

質問 学童保育の支援員の勤務時間は非常に短い、時間給なのか、月給制度なのか、日給制度なのか。

答弁 時給となっている。認定資格の研修を受けた方が1時間当たり951円、資格のない方については865円を支払っている。

質問 市民交流プラザ施設修繕でシャッターの取りかえ、安全装置取り付け8カ所とあるが、オープン当時は問題はなかったのか。

答弁 建設当時、シャッターは試運転等をして問題はなかったと認識をしている。その後、3階、4階と、1、2階の開業時間にずれがあり、以前は防火用で通常は使用していなかったエスカレーター横のシャッターを毎日開閉するようになり、修繕が必要になった。

質問 うれしの特別支援学校に通われている人で、通学バスをとの声を聞くが。

答弁 現在、嬉野のほうは回っていて、鹿島のほうは近いという理由で送迎をしていない。この会議の中で今後お願いをしていくようにしている。

質問 海底耕うんが今年度で実質終了ということだが、来年度以降の計画等はあるのか。

答弁 底質が改善し、効果が上がっている、今後も続けたいが、この事業を実施し

た後、10年間は同じような事業ができないと聞いている。これにかわるような事業があるのかどうか、漁協、あるいは有明海沿岸市町との協議を重ねていく。

質問 かしまビジネスサポートセンター設置・運営事業の成果はどういうものがあるのか。

答弁 県や金融機関の補助金関係の申請をする際の企画書のつくり方や申請方法の相談が多い。売り上げ約20%以上の増加となっており、商談会で商談成立、それと生産性向上の機器を導入したことで、生産性が150%増加など、成果はあらわれてきている。

質問 農業委員会について、農業委員10名、最適化推進委員が21名となっているが、仕事の区分は。

答弁 法改正があり、平成28年度から施行している。農業委員は従来どおり月1回の総会で議決なり許認可等をやっており、最適化推進委員は農地等の利用の最適化ということで制度が大きく変わった中、遊休農地の早期発見、地域での農業者との話し合い等の現場活動を中心に動いている。お互い両輪として意見交換をしながら、今後の農政振興、農業振興に努めている。

質問 イノシシ駆除対策事業、鳥獣害防止強化対策事業について、先般の議会と市民と語る会にて、イノシシの被害がひどく、農業経営にかかわることができないという多くの声が聞かれた。駆除が速やかにできるためのネットワークづくりを確立できないのか。

答弁 イノシシ被害が非常に深刻だと担当課も認識をしている。数年前より狩猟期でも補助金を適用しており、大体1頭当たり18千円を国、県、市で分担し、支払っている。防御ではワイヤーメッシュとか電気牧柵とかの補助でも1人当たり上限200千円の補助があり、3年たてばリセットされるよう要綱をつくり、直してきている。ネットワークについては、以前、警察とも一緒になったネットワークがあったが、再度これを構築して、このことに当たりたいと考えている。

質問 国民健康保険税の収納率が年々上がってきているが、平成28年度の収納率95.23%というのは、県内でどれくらいの水準か。

答弁 県内20市のうち、10位相当の順位となっている。

質問 国民健康保険は、平成30年度から県と市町の共同運営に変わるが、今年度末に繰り越し分も含めてどのような扱いをする方針か。国保税の赤字決算、平成28年度で約207,000千円の解消策は。

答弁 平成29年度までの賦課徴収分については各市町で行う。国保税の赤字も一緒だ。平成30年度以降の県内国保の運営を行うための方針を県と市町で策定をしているところだが、赤字を解消しているところとできていないところでのペナルティーを科す案も出てきている。

質問 国民健康保険特別会計について、ジェネリック医薬品を使った結果が医療給付費減につながっているのか。

答弁 鹿島市の国民健康保険の方で、ジェネリック医薬品が占める数量割合は72.2%、国保連合会全体の平均が69.4%で平均より若干多い。ジェネリック効果はあらわれていると思うが、高額な医薬品が発生し、なかなか押し下げる効果まではいっていないのが現状だ。

質問 国保税が納められないで、保険証の取り上げとかを行政はやっているのか。

答弁 短期証、もしくは資格証を交付している世帯が平成28年度末で251世帯、高校生以下の子供がいるのは41世帯、高校生以下には全て1年証を渡している。

質問 雇用、定住とかの問題で、企業誘致は非常に大事な取り組みの柱である。現在、工場団地が完売し、用地がないということになれば、新たな工場団地の引き合いがあったときにどういう対応をするのか。

答弁 新しい工場団地の造成に取り組むのか、企業の内容規模に合わせたオーダーメイド型で対応するのか、鹿島市の場合はアクセス道路の環境整備とセットで検討する必要があると考える。新しい工場団地についても、タイミング等を含め、担当課としては検討をしていきたい。

質問 下水道の整備事業で一般会計の繰り入れが590,000千円近くある。エリアが広がり、今後は門前、そして大村方の工場団地、浜町へと計画を随時行う予定だが、一般会計からの繰り入れが今後ふえていくのではないか。

答弁 一般会計繰入金約6億円のうち、5億円が起債、借金の返済にほぼ充てている。起債は5年据え置き、25年元利均等払いで借りているが、最もお金を借りたのは平成6年のとき、供用開始の直前だった。ことしは事業開始の昭和61年から30年目に当たり、平成32年度ぐらいが起債の償還のピークで、それが過ぎると、起債の返済額が5億円から4億円ベースに落ちる。経営戦略的には一般会計繰入金ベースは今後落ちていくものと想定をしている。

質問 公共下水道以外で処理をされている方はどのような処理の仕方をして、何件ぐらいがあるのか。

答弁 平成28年度末現在では、人口2万9,958人のうち、下水道を接続している方は7,528人、くみ取りの方は1万3,851人、合併処理浄化槽が7,299人、単独処理下水道が1,280人。

質問 基本料金で水道料金がおさまっているところは何%あるか。

答弁 2,034件、率にして20%となっている。

質問 水道料金の細分化はできないのか。

答弁 給水収益の減少につながり、今後の水道料金改定を早くしてしまうという要因の

一つになる。現状としては、現行の水道料金を維持していく。

以上、本委員会に付託されました議案第35号から議案第41号までの7議案は、質疑終了後、討論、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定することに決せられました。

以上が決算審査特別委員会の審査報告であります。

なお、一般会計・特別会計決算、水道事業会計決算と約数百ページにわたる議事録をしっかりとまとめ上げ、報告書を作成していただきました勝屋弘貞副委員長に厚くお礼を申し上げて、報告を終わります。

○議長（松尾勝利君）

それでは、議案第35号から議案第41号までの7議案についての委員会審査報告に対し、一括して質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾勝利君）

質疑を終わります。

一括して討論に入ります。討論ありませんか。14番松尾征子議員。

○14番（松尾征子君）

14番松尾です。ただいまの委員長報告に対して、反対の討論を行いたいと思います。

まず、議案第35号 平成28年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

私はこれまで一貫して市の行財政の運営については公平公正でなくてはいけないことを訴え続けています。恐らくこの壇上から30回以上、同じことを訴えたのではないかと思います。しかし、いまだにその問題については解決されないばかりか、その見通しもあります。

その一番の問題は、同和事業です。鹿島市にある同和団体2団体に支給されている活動補助金の問題、全日本同和会鹿島支部は支部員5名、これに出されている補助金は2,540,719円、さらに、部落解放同盟鹿島支部は支部員3名、1,726,313円です。研修会や学習会など、東京や京都を初め、九州各地で行われておりますが、そのような催しに参加する費用は全て市費丸抱えということになります。

鹿島市はいろんな団体に補助金が出されておりますが、その中でも福祉団体について同和団体の補助金と比べてみたいと思います。肢体不自由児父母の会の会員は18名、これに対して24千円、手をつなぐ育成会36人に40千円、視聴覚障害福祉協会10人の構成人員に24千円、母子寡婦福祉連合会27名に24千円、遺族会394人に694千円、原爆被爆者の会45人に12千円という現状です。そして、この補助金の額というのは数年変わっていません。これらの団体の方たちは、活動費についてはそれぞれの会費や資金づくりをしながら活動をなさっています。これはまさに差別ではないでしょうか。

ちなみに、福祉団体といえば、社会福祉協議会もありますが、ここは4,633千円の補助金、この一般会員が8,730人です。さらに、特別団体とか法人という会員がおられますが、い

ろんな活動がなされておりますが、同和団体と比べたら考えなくてはいけないと思います。

さて、いろんな問題がありますが、私は特に鹿島市の職員の問題で指摘しなくてはいけないと思っています。今回の監査委員会の報告に「職員間でのコミュニケーションを図りながら組織として業務遂行にあたるのが、より一層重要になると考えられることから、内部統制の整備と職員の健康管理にも配慮した職員数の確保と人員配置により適切な事務処理が行われるよう望むものである。」、このように書かれています。今、市は職員の数を年々減らし続けています。このことは市民サービス低下につながっているだけでなく、職員の健康を害して、長期休暇なども多く見られておりますし、メンタルによる休暇もあります。職員を増員することについては、執行部はなかなかふやしていけないので、退職したベテランの使用や臨時職員の採用などが考えられているということで、根本的にこの職員の問題について解決をしようという状況は全く見られません。このようなことは、先ほども申しましたが、職員の健康管理はもちろんですが、市民サービスにも大きな障害をもたらしています。このような問題こそ、早急に解決しなければならないことだと私は思います。

さて次に、住宅リフォーム助成制度の問題について。私はこの事業については評価をしたいと思いますが、この事業は鹿島市は平成23年4月から全県の自治体では最初に取り組んだと思います。その後、県が10月から取り組みました。ところが、県が事業をやめたと同時に、県内の自治体のほとんどが事業を中止していると思います。しかし、鹿島市は28年度はもちろんです、29年度も続けているわけです。この事業の経済効果は非常に大きいものがあります。これまでトータル98,000千円の助成金で約19億円の効果が出ているといえますから、市の経済にも大きな影響を及ぼしてきたと思います。当初は希望者全員に助成金が出されました。しかし、その後は希望者全員でなく、抽せんにということになりました。せっかくこのようなすばらしい事業をやるわけですから、希望者全員に行き渡るような取り組みをすべきだと私は思っています。

さらに、今回の審議の中で、住宅リフォーム助成制度は29年度で打ち切りという説明がなされました。私はこのような事業こそ続けるべきだと思っています。これからまだまだ公共下水道事業も進んでいきます。そのために家を改築したり、手を入れなくてはいけなくなります。これからまた高齢化も進んでいきます。そういうことになると、家屋のバリアフリー化が必要になるわけです。これまで手すり一つだったけど、やれてよかったという話も聞きました。何とか今後も続けていくことを要求するものです。

さて次に、市民交流プラザ「かたらい」の問題です。5,292千円の修繕費が上がっています。私はこの数字をどうこう言うものではありません。「かたらい」ができるときは、高齢者や子供たちが利用するために、安全については十分に取組んでいくということを何度も聞かされてきました。ところが、ここに上げられているのは、シャッターの取りかえ、安全装置の取り付けということです。これは非常に重要な問題だと思っています。これを今になって

取り組まれている。今まで何も事故がなかったからいいようなものですが、許されるものではありません。

今回の決算については、まだ市営住宅の管理問題や高齢者支援、また、保育園の問題など、指摘する面は多々ありますが、これくらいにしておきたいと思いますが、私は全体的に今、鹿島市の行財政運営の中で、公平公正でない分とあわせて無駄遣いが非常に多いんじゃないかと思います。特に申し上げたいと思いますのは、今回の決算の中で、具体的には出ていないかと思いますが、その大きなものが、これまで大学などに依頼をして取り組んだ事業の問題です。一番最初に市長が就任されてすぐ取り組まれたのが、あのミカンの花の問題です。その後、マヨネーズの「S o i S o i」だとか、また化粧品の問題がありましたが、これは今回の決算審議の中で意見が出てきまして、その中で明らかになったわけですが、この化粧品の『Q u i n p a n k a (キンパンカ)』について、どのくらい今売り上げが上がっているのかという質問がほかの議員からなされましたら、それに対しては全く行政としてつかまれていない、そういう現状がありました。私はこの化粧品を開発するに当たっては大学への委託によって取り組まれたと思いますが、それまでの取り組みに市がどれくらいのお金を使っているのかと調べてみますと、これは平成23年度から取り組まれているようです。そして、平成27年度まで委託料が約10,000千円です。10,000千円であろうが、50,000千円であろうが、経済効果があり、本当に市民の役に立つものなら私は文句は言いません。しかし、今になってこういう現状が明らかになった今、何だったのかと言いたくなります。あのマヨネーズ「S o i S o i」についてもそうです。これは去年かおととの決算委員会で大分論議になって、その実態が明らかになったわけですが、そういうのがずっと尾を引いていくわけです。

先ほど私は住宅リフォーム助成制度の問題で、来年から取りやめるという話をしましたが、そういう無駄遣いをするくらいなら、住宅リフォーム助成制度を続けながら、本当に市の活性化のために市民の皆さんに役立つ事業を私はやるべきだと思っています。

さて、これで終わりにしたいと思いますが、今回、約15億円の予算が、つまり市民の税金が使われてきましたが、市民にとって市民生活にプラスになったと、そういう実感が本当に市民にあるかということです。そういう実感のない人が多いです。私はいろんな方とお話をしますが、私たちの生活はどがんなとやろうか、そういう声が非常に多く聞かれています。もちろんこれまで市もいろんな努力をしていただきました。そして、頑張ってもらいはしました。しかし、それができなかった分がたくさんあります。その一番大きな要因は、何といても国の政策です。安倍政権が進めるアベノミクスの影響が、私たち市民の暮らしにも大きくのしかかってきていることは免れないと思います。私はこのことを最後に述べ、今回の28年度一般会計決算については反対をしたいと思います。

次に、議案第38号、国保の問題です。

国保の問題につきましては、これまでも何度も言うておりますが、やはり払わなくてはいけないことがわかっている。払いたくても払えないというような高い国保税の中で、私は大きな問題だと思うのは、税金が払えないために国保証が取り上げられる、そういう事態があることを許すことができません。もちろん短期だとか資格証明書だとかいう発行はされておりますが、しかし、国保証というのは、市民の命と暮らしを守る最も大事なものです。こういうのを取り上げるということは絶対に許せないことです。鹿島ではそういうお話は聞いていませんが、全国的には国保証がもらえなかったために命を落とした、重病化したというようなニュースは珍しくありません。私はこういうことを早く改善していかなくてはならないと思います。

さらには、介護保険があります。今、介護保険料が取られておりますが、年金差し引きということで、嫌でもそれは引かれます。さらには、年金から引かれない人は直接支払いをすることになりますけれども、払えない人もたくさんあるようです。そして、このような人には、これから特に厳しいペナルティーがかけられ、介護が受けられなくなるという現状もあるようです。さらに、今の実態の中では、介護保険料は払っているけれども、利用料が高くて十分に利用できないというお年寄りもたくさんいます。介護保険事業については3年越しの見直しになっておりますけれども、年々改悪される中で、収入である年金は減らされるばかりです。そういう現状ですので、本当に皆さんが安心できるような介護保険制度をつくり出さなくてはならないと思います。

ただ、国保税につきましては、今の大変な財政状況の中で、来年度からは県で一本化されるという話が進んでおりますが、まだこれについても具体的な問題は出ていないようです。私はせめて市が運営をしているの間だけでも国保税を払いやすくする、介護を受ける人が介護を受けやすいようにする、このことに思い切って取り組んでいくことが急がれているということを申し上げまして、国保会計にも反対の態度をとりたいと思います。

次に、水道事業の問題です。

私はこの水道事業会計につきましては、料金体系の見直し、これも訴え続けています。御承知のように、今、水道料金は10立方メートルまでが一番基本となって水道料金が組まれておりますが、最近、高齢者がふえ、ひとり暮らしがふえる中で、水道量を少なく使う人がふえています。特に高齢者の人でデイサービスなどに行く人は、お風呂はデイサービスで済ませます。そういうことになりますと、10立方メートルまでの基本料金となりますと、非常に高い水を使っていることとなります。私はこの問題については、とりあえずは5立方メートルまで、そして、5立方メートルから10立方メートルまでと区切りをつくりかえることを言うてきました。ところが、それをやろうとする態度はありません。そればかりか、今度の審議の中で市長は、水道料金については全て一律、公平にという考え方もあるんですよ、そういうことをおっしゃいました。公平という意味がおわかりなんではないでしょうか。料金を同じ

にすることが公平なんでしょうか。私はそうではないと思います。本当に利用する人が安心して利用できる水道料金の体系を早く実現させることを私は望んで、この水道事業会計にも反対をいたします。

ほかの会計については討論はいたしません、今回、全ての会計について反対の態度をとりたいと思います。

以上です。

○議長（松尾勝利君）

ほかに討論はありませんか。13番福井正議員。

○13番（福井 正君）

13番議員、福井正でございます。先ほどの委員長報告に対して、賛成の立場で討論をいたします。

議案第35号から第41号、全ての議案に賛成でございますけれども、議案第35号 平成28年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について、賛成の立場で討論いたします。

平成28年度は歳入15,523,230千円、歳出15,211,168千円となっており、差し引き312,062千円の黒字決算でございました。また、公共施設建設基金を市民体育館改修事業、小・中学校施設整備事業、市道改修事業等のために取り崩されましたけれども、財政調整基金につきましては最終的な取り崩しが実質回避されております。財政指標もおおむね健全な水準におさまっております。歳入の中でも、ふるさと納税が1億円を超えており、今後の財政運営等に寄与をしていくものだと思います。また、市税収入も30億円を超えることができました。歳出の中で民生費は5,519,991千円となり、総支出の36%を占めておりますけれども、このことは、学童保育の充実等、児童福祉、住民福祉に力を注ぎ込んでいる結果だと思います。また、農水産業の振興策として、基盤整備事業や強い農業づくり交付金事業、青年就農給付金事業など、1次産業強化の取り組みがなされております。また、商工費として、ビジネスサポートセンター事業で414件の相談があり、商工業の振興にも取り組まれております。

平成28年度は積極的投資とバランスがとれた決算であり、よって、平成28年度の委員長報告のとおり、決算認定に賛成をいたします。

以上です。

○議長（松尾勝利君）

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾勝利君）

討論を終わります。

採決します。議案第35号 平成28年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定についての委員会審査報告は認定であります。本案を委員会審査報告のとおり決することに賛成の諸君の起立

を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（松尾勝利君）

起立多数であります。よって、議案第35号は提案のとおり認定されました。

次に、議案第36号 平成28年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についての委員会審査報告は認定であります。本案を委員会審査報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（松尾勝利君）

起立多数であります。よって、議案第36号は提案のとおり認定されました。

次に、議案第37号 平成28年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定についての委員会審査報告は認定であります。本案を委員会審査報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（松尾勝利君）

起立多数であります。よって、議案第37号は提案のとおり認定されました。

次に、議案第38号 平成28年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についての委員会審査報告は認定であります。本案を委員会審査報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（松尾勝利君）

起立多数であります。よって、議案第38号は提案のとおり認定されました。

次に、議案第39号 平成28年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についての委員会審査報告は認定であります。本案を委員会審査報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（松尾勝利君）

起立多数であります。よって、議案第39号は提案のとおり認定されました。

次に、議案第40号 平成28年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定についての委員会審査報告は認定であります。本案を委員会審査報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（松尾勝利君）

起立多数であります。よって、議案第40号は提案のとおり認定されました。

次に、議案第41号 平成28年度鹿島市水道事業会計決算認定についての委員会審査報告は認定であります。本案を委員会審査報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（松尾勝利君）

起立多数であります。よって、議案第41号は提案のとおり認定されました。

以上をもちまして、今期定例会に付議されました案件は全部終了いたしました。

よって、今期定例会は本日をもって閉会といたします。お疲れさまでした。

午前11時21分 閉会

以上、会議の次第を記載し、内容については正当なることを認め、ここに署名する。

平成 年 月 日

鹿島市議会議長

松 尾 勝 利

会議録署名議員

10番

松 本 末 治

同 上

11番

光 武 学

同 上

12番

徳 村 博 紀